



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	11,866	40.8	1,226	74.3	1,207	68.7	257	13.8
29年3月期第2四半期	8,430	△27.5	703	△55.6	715	△53.9	226	36.4

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 812百万円(1,605.3%) 29年3月期第2四半期 47百万円(82.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年12月期第2四半期	円 銭 27.72	円 銭 —
29年3月期第2四半期	24.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	50,899	28,497	43.8	2,402.80
29年3月期	46,330	27,268	47.5	2,371.64

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 22,303百万円 29年3月期 22,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00			

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	17,800	—	1,900	—	1,850	—	450	—	48.48	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、連結決算日(当社の事業年度の末日)を毎年3月31日としておりましたが、平成29年6月29日開催の第12期定時株主総会において、定款一部変更を決議し、連結決算日を毎年12月31日に変更いたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる平成29年12月期の連結業績予想については、平成29年4月1日から平成29年12月31日の9ヵ月間の予想数値を記載し、対前期増減率を記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料 6 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年12月期 2 Q	9,282,500株	29年3月期	9,282,500株
29年12月期 2 Q	145株	29年3月期	145株
29年12月期 2 Q	9,282,355株	29年3月期 2 Q	9,282,355株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成29年11月20日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財務状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間において、当社グループでは、主要顧客の生産ミックスの変化が継続したことや、その他一部顧客で在庫調整が行われたことなどにより受託量が伸び悩んだため、売上高は5,918百万円（前四半期比0.5%減）、営業利益は607百万円（前四半期比1.8%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は11,866百万円（前年同期比40.8%増）、営業利益は1,226百万円（前年同期比74.3%増）、経常利益は1,207百万円（前年同期比68.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は257百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

① メモリ事業

当第2四半期のメモリ事業は、主要顧客の生産ミックスの変化が継続したことや、新興国向けスマートフォン向け製品の在庫調整の影響などにより、売上高は2,779百万円（前四半期比3.9%減）、セグメント利益は415百万円（前四半期比27.1%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のメモリ事業の売上高は5,671百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は985百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

② システムLSI事業

当第2四半期のシステムLSI事業は、一部顧客の在庫調整による売上高の減少を、車載向け製品を中心とした受託量の増加でカバーしたものの、受託量の拡大に向けて行った設備投資により減価償却費が増加したことなどにより、売上高は3,103百万円（前四半期比3.3%増）、セグメント利益は504百万円（前四半期比2.6%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のシステムLSI事業の売上高は6,109百万円（前年同期比108.4%増）、セグメント利益は1,022百万円（前年同期比972百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は50,899百万円となり、前連結会計年度末比4,569百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が5,319百万円増加した一方で、有価証券が1,000百万円減少したことによるものです。

負債は22,402百万円となり、前連結会計年度末比3,340百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が1,945百万円、短期借入金が971百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は28,497百万円となり、前連結会計年度末比1,228百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が257百万円、非支配株主持分が939百万円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は9,368百万円となり、前連結会計年度末比765百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,200百万円の純収入(前年同期比37.5%の収入増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,209百万円、減価償却費3,462百万円、仕入債務の増加262百万円などにより資金が増加した一方、法人税等の支払616百万円、売上債権の増加115百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,369百万円の純支出(前年同期比22.6%の支出増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,997百万円があったことにより資金が減少したためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,982百万円の純収入(前年同期比24.9%の収入減)となりました。これは主に、設備投資資金の調達等で借入金による収入が長短合わせて6,706百万円あったことにより資金が増加した一方、借入金の返済による支出が長短合わせて3,833百万円あったことにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期第3四半期においては、前半は一部顧客の在庫調整の影響が残るものの、年末に向けて受託量の増加が見込まれ、全体として売上高は横ばいで推移するものと予想しておりますが、各種費用の抑制により、増益は確保できるものと予想しております。

これらの結果、当社グループの通期の業績は、売上高が17,800百万円、営業利益が1,900百万円、経常利益が1,850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は450百万円と予想しております。

なお、中間配当につきましては、利益剰余金が未だ欠損となっていることから、見合わせさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,942,599	12,268,166
受取手形及び売掛金	5,825,512	5,949,829
有価証券	1,000,000	-
製品	68,124	18,886
仕掛品	303,864	310,715
原材料及び貯蔵品	52,518	55,941
その他	1,141,482	1,330,151
流動資産合計	20,334,101	19,933,691
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	13,632,192	17,317,183
建設仮勘定	5,416,883	5,814,772
その他(純額)	5,951,230	7,187,771
有形固定資産合計	25,000,306	30,319,727
無形固定資産	293,878	289,466
投資その他の資産		
その他	702,436	357,183
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	702,355	357,102
固定資産合計	25,996,541	30,966,296
資産合計	46,330,642	50,899,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	501,568	764,209
短期借入金	440,000	1,411,830
1年内返済予定の長期借入金	388,000	388,000
リース債務	609,927	540,056
未払法人税等	589,891	387,763
賞与引当金	674,667	666,121
その他	2,517,547	3,160,171
流動負債合計	5,721,603	7,318,152
固定負債		
長期借入金	11,632,239	13,577,393
リース債務	1,007,241	769,809
退職給付に係る負債	248,242	259,881
その他	452,392	477,123
固定負債合計	13,340,116	15,084,207
負債合計	19,061,719	22,402,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△1,570,207	△1,312,884
自己株式	△128	△128
株主資本合計	21,633,244	21,890,567
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	469,906	496,492
退職給付に係る調整累計額	△88,704	△83,448
その他の包括利益累計額合計	381,201	413,043
非支配株主持分	5,254,476	6,194,016
純資産合計	27,268,922	28,497,627
負債純資産合計	46,330,642	50,899,988

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,430,861	11,866,696
売上原価	6,753,456	9,437,539
売上総利益	1,677,404	2,429,156
販売費及び一般管理費	973,701	1,202,372
営業利益	703,702	1,226,783
営業外収益		
受取利息	2,018	2,097
受取保険金	30,119	-
設備賃貸料	79,474	66,580
その他	25,318	64,585
営業外収益合計	136,931	133,263
営業外費用		
支払利息	45,968	79,411
持分法による投資損失	3,561	-
貸与資産減価償却費	35,057	41,562
その他	40,238	31,169
営業外費用合計	124,826	152,143
経常利益	715,807	1,207,903
特別利益		
固定資産売却益	12,784	42,844
その他	300	-
特別利益合計	13,084	42,844
特別損失		
固定資産売却損	11,499	26,183
固定資産除却損	5,728	15,291
減損損失	43,519	-
特別損失合計	60,746	41,475
税金等調整前四半期純利益	668,145	1,209,272
法人税等	103,122	454,087
四半期純利益	565,023	755,185
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	226,021	257,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	339,001	497,862
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△523,099	52,128
退職給付に係る調整額	5,727	5,255
その他の包括利益合計	△517,372	57,384
四半期包括利益	47,650	812,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,031	289,164
非支配株主に係る四半期包括利益	82,682	523,405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	668,145	1,209,272
減価償却費	2,530,015	3,462,527
減損損失	43,519	-
株式報酬費用	8,567	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,220	11,638
賞与引当金の増減額(△は減少)	58,652	△9,237
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	△175,408	-
受取利息	△2,018	△2,097
支払利息	45,968	79,411
設備賃貸料	△79,474	△66,580
受取保険金	△30,119	-
持分法による投資損益(△は益)	3,561	-
固定資産除売却損益(△は益)	4,442	△1,368
売上債権の増減額(△は増加)	1,282,609	△115,526
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,229	39,661
仕入債務の増減額(△は減少)	△791,061	262,489
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△189,706	△263,876
その他の流動負債の増減額(△は減少)	176,768	252,839
その他の固定負債の増減額(△は減少)	4,173	△20,373
その他	△47,920	△20,524
小計	3,419,705	4,818,255
利息の受取額	2,265	2,104
利息の支払額	△45,088	△79,739
補助金の受取額	12,341	-
保険金の受取額	30,119	-
法人税等の還付額	5,964	76,794
法人税等の支払額	△369,294	△616,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,056,013	4,200,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,400,000	△2,900,000
定期預金の払戻による収入	3,500,000	3,400,000
有形固定資産の取得による支出	△5,990,419	△7,997,858
有形固定資産の売却による収入	261,873	95,313
無形固定資産の取得による支出	△29,086	△23,812
設備賃貸料の受取額	80,717	66,580
事業譲渡による収入	596,547	-
その他	△30,249	△10,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,010,616	△7,369,807

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,556,240	2,902,660
短期借入金の返済による支出	△900,000	△1,941,330
長期借入れによる収入	3,503,052	3,803,729
長期借入金の返済による支出	△465,907	△1,891,883
リース債務の返済による支出	△595,511	△307,303
セール・アンド・リースバック取引による収入	965,458	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	721,941
非支配株主への配当金の支払額	△94,548	△305,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,968,783	2,982,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106,726	12,456
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	907,454	△174,432
現金及び現金同等物の期首残高	7,073,604	9,542,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,981,058	9,368,166

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	合計 (注)2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,548,100	2,931,961	8,480,062	△49,200	8,430,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,548,100	2,931,961	8,480,062	△49,200	8,430,861
セグメント利益	1,298,787	49,553	1,348,340	△644,638	703,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△644,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△753,211千円、連結消去123,803千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△15,230千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メモリ事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては43,519千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	メモリ事業	システム LSI事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,670,006	6,109,195	11,779,201	87,494	11,866,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,283	—	1,283	△1,283	—
計	5,671,289	6,109,195	11,780,485	86,210	11,866,696
セグメント利益	985,185	1,022,417	2,007,602	△780,819	1,226,783

- (注) 1. みなし取得日を平成29年3月31日として株式会社テラプローブ会津が子会社となったことから、第1四半期連結累計期間より株式会社テラプローブ会津の業績をシステムLSI事業に含めております。
2. セグメント利益の調整額△780,819千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△963,859千円、連結消去164,951千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額18,088千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。